平成 17 年度 江戸川区「行政評価」事務事業分析シート

整理 番号 17

作成日 平成 年 17 月 20 日

小岩事務所における自動車臨時運行許可 事業名

所属名 生活振興部 小岩事務所 地域サービス係 電話番号

)

03 (3657) 7832

事業の目的及び概要

事 業 ഗ

的

課

題

活

動 指

動

果 指 果 標

> > 活動実績①②のグラフ

14年度

15年度

道路上で運行してはいけない未登録自動車や車検切れ車両を運行させるための申請に対し、道路運送車両 法に定められた特定の運行要件を満たす場合に限り、行政庁(江戸川区) が運行の目的、及び経路、有効 期間を付して、特例的に番号標(仮ナンバー)を貸与する制度です。

事業の開始年度

現在の課題

貸与期間が最長でも5日間であるのに番号標(仮ナンバー)の返納が遅れることがあります。

事業の対象者と動向

□ 区民全体 □ 対象年齢あり(

☑ 対象条件()

14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	対象の傾向		
_	_	_	_	_		_	

事業対象は、未登録自動車等の運行を必要とする人及び自動車整備事業所等ですが、実数の把握 備考: はしておらず、表示できません。

	活動指標名	活動指標の説明			
1	番号標貸付件数	番号標の利用申請を受け、番号標を貸与し与えた者の数			
2	道路運送車両法に基づき、貸与期間終了後5日を経過した時 行っている電話による返納勧奨件数				

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
1	519件	435件	375件	件	件
2	113件	73件	57件	件	件

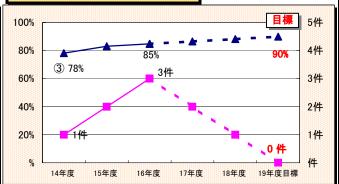
	成 果・目 標 指 標 名	成果・目標指標の説明
3	番号標の法定期限内返納率	期限内返納率を100%にすることが目標であるので、率の変化は 重要です。
4	回収不能による失効件数	期限内に返納されず、最終的に回収できなくなる番号標をゼロに することが目標です。

成果		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度目標	目標値設定の説明
実績	3	78.2%	83.1%	84.8%	%	%	90.0%	の指導を徹底し、凹収率の同上
目標	4	1件	2件	3件	件	件	0件	を図り、不正な利用を防止しま す。

600件 200件 ◆① 519件 500件 150件 400件 → 375件 2 113件 300件 100件 200件 ■ 57件 50件 100件

16年度

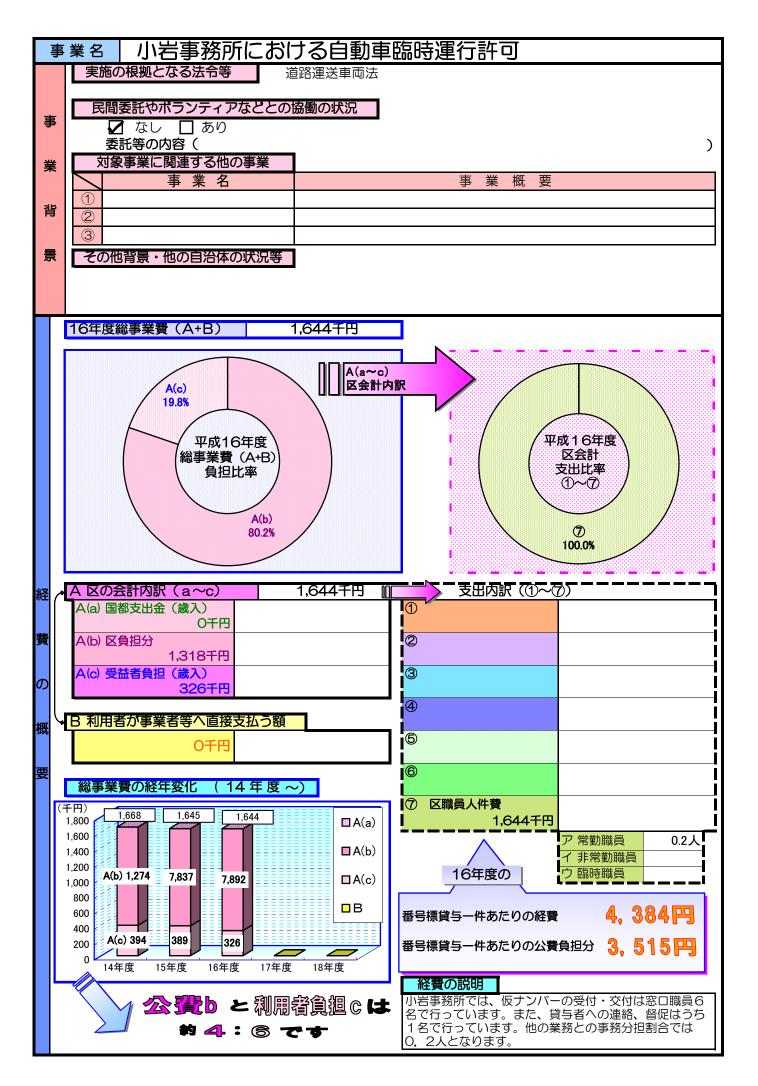
17年度



成果実績・目標③④のグラフ

件

18年度



平成17年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

整理番号 17 事業名 小岩事務所における自動車臨時運行許可

所属名 生活振興部 小岩事務所 地域サービス係

所	管課長評価 そう	思う	\triangleleft	nanananan (そう	思わない		
評	西項目 評点	5	4	3	2	1	備 考		
[J	必要性·代替性】								
1	区が実施すべき事業である。	0					法定受託事務であるため		
2	目的を達成するために他の手段がある。					0			
	実績】								
3	目的を果たすために有効な事業である。	0							
4	事業の成果を上げている。		0				返納率はあまりよくないが成果は上げている。		
[:	公平性】								
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。	0							
6	受益者負担を検討する必要がある。			0					
[†	協働の可能性】※既に実施している場合は、拡大	維持	寺・糸	缩小0	つ可能	と性 。	として評価		
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。					0			
8	民間委託の可能性がある。					0			
[3	効率性】	•							
9	工夫や改善が必要である。		0						
10	経費を削減できる可能性がある。	0					係合併により職員の事務分担が増えたので経費は削減された。		
	所 管 部 長 の 意 見								
	制度目的に沿った運営がされているので、成果を上げ、仮ナンバーの返納率も年々上昇している。効率に								
	も配慮し、さらに効果が上がるように工夫を重ねる	たい。)						

平成17年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

| 整理番号 | 17 | 事業名 | 小岩事務所における自動車臨時運行許可

所属名 生活振興部 小岩事務所 地域サービス係

外部評価委員会評価

そう思う ◆ そう思わない

評	西項目 評点	5	4 3	2	1	備考	
[J	必要性·代替性】						
1	区が実施すべき事業である。	0					
2	目的を達成するために他の手段がある。		0				
	実績】						
3	目的を果たすために有効な事業である。		0				
4	事業の成果を上げている。		0				
	公平性】						
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。		0				
6	受益者負担を検討する必要がある。		0				
(†:	協働の可能性】※ 既に実施している場合は、拡	大・維	持・縮小	の可能	比性	として評価	
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。		0				
8	民間委託の可能性がある。		0				
[3	办率性】	-			_		
9	工夫や改善が必要である。		0				
10	経費を削減できる可能性がある。		0				

外部評価委員会の意見

- ・貸与の際、保証金預かりのしくみをつくり、ナンバー返納時返金する等の方法を検討する余地はないのか。
- ・返却しない場合は、罰則として次回貸与しないことはできないのか。
- ・いずれにしても公正な事務の執行を期待する。